

# 「令和 7 年度 横浜市指定・登録文化財展」／企画展「みすてりい・おぶ・こもんじょ」及び関連イベント開催のお知らせ

横浜市歴史博物館では、令和 7 年度冬期展示 2 本を同時開催します。「令和 7 年度 横浜市指定・登録文化財展」では新指定の仏像や絵画を公開します。企画展「みすてりい・おぶ・こもんじょ」は古文書初心者向けの入門展示です。

## 展覧会概要

- 【会 期】 令和 8 年 1 月 31 日 (土) ～3 月 15 日 (日)  
 【開館時間】 9 時～17 時 (券売は 16 時 30 分まで)  
 【休 館 日】 月曜日 (ただし 2 月 23 日は開館)、2 月 24 日 (火)  
 【会 場】 横浜市歴史博物館 企画展示室  
 【観 覧 料】 一般 500 円 (400 円)、高校・大学生 400 円 (320 円)、小・中学生/横浜市内在住 65 歳以上 300 円 (240 円) ※企画展示室のみ。  
 同時開催の 2 展示共通。( ) 内は団体 20 名以上の料金。

## 「令和 7 年度 横浜市指定・登録文化財展」

この度新しく指定された横浜市指定文化財を展示するとともに、文化財の〈みかた〉をわかりやすく解説します。あわせて、令和 6 年度に文化庁に認定された「横浜市文化財保存活用地域計画」の取組をパネルにて紹介します。

【主 催】 (公財) 横浜市ふるさと歴史財団、横浜市教育委員会

## 企画展「みすてりい・おぶ・こもんじょ—古文書の世界へようこそ—」

これから古文書を学ぶ方に向けた、おもに江戸時代の古文書の入門展示です。古文書が語る地域史の魅力やファミリーヒストリーなどの個人史の实践を紹介しながら、歴史資料を後世に遺していく意義や活用方法についても紹介します。

【主 催】 (公財) 横浜市ふるさと歴史財団

【共 催】 横浜市教育委員会

【協 力】 横浜市郷土史団体連絡協議会、横浜古文書を読む会



横浜市歴史博物館



横浜市歴史博物館

## 関連イベント

講演会やギャラリートークなどの関連イベントを実施します。詳細は当館ホームページをご覧ください。

### —文化財展—

#### ◆特別講演会「中世関東禅林の絵画」 [1 月 31 日 (土)]

高橋真作氏 (東京国立博物館主任学芸員) による講演会です。※事前申込制 (応募多数の場合は抽選)

#### ◆ギャラリートーク [2 月 15 日 (日)・2 月 22 日 (日)・3 月 14 日 (土)] ※事前申込不要

### —みすてりい・おぶ・こもんじょ—

#### ◆講演会 A「歴史好きのための古文書入門」 [3 月 1 日 (日)] ※事前申込制 (先着)

高尾善希氏 (三重大学人文学部文化学科文化資源学 (忍者学) 准教授) による講演会です。

#### ◆講演会 B「ファミリーヒストリーの実験—尾張藩下級士族がたどった明治・大正・昭和—」 [3 月 8 日 (日)]

井上攻氏 (前横浜市歴史博物館副館長) による講演会です。※事前申込制 (先着)

#### ◆連続古文書講座「はじめての古文書 2026」 (全 8 回) [2 月 6 日 (金)～3 月 27 日 (金) 毎週金曜日]

初心者の方向けの、古文書解読入門講座です。※事前申込制 (先着)

#### ◆ミニ展示「古文書仲間を作ろう!～市内古文書の会の紹介～」 [企画展会期中]

## 「令和7年度 横浜市指定・登録文化財展」の主な展示文化財

### \*頼朝ゆかりの古刹・證菩提寺に伝わる南北朝時代の金銅仏

体部背面に刻まれた銘記により、南北朝時代、延文2年（1357）の作であることがわかっている銅造の聖観音菩薩坐像です。

### \*神仏習合の考えがひろまった中世の信仰のようすがうかがわれる絵画

室町時代・長祿4年（1460）に制作された春日講の本尊です。



栄区・證菩提寺  
聖観音菩薩坐像



鶴見区・大本山總持寺  
春日社寺曼荼羅（大本  
山總持寺写真提供）

## 企画展「みすてりい・おぶ・こもんじょ」のみどころ

### 古文書の世界へようこそ！

博物館ですらりと展示されている古文書たち。皆さん一度は「すらすら読めたらな」と思ったことはありませんか。古文書はいわゆる“くずし字”で記されていて、現在を生きる私たちには少し難解に思えます。

かつて古文書は、歴史研究者だけが読みこなす史料でしたが、近年では古文書に関する入門書や解説辞典が出版され、各地で古文書講座が開講するなど、一般の方が地域に残る古文書を解説する古文書ブームが続いています。古文書が読めるようになれば、身近な地域の歴史や、先祖のあゆみを知ることができます。



上大岡村（現、横浜市港南区）で名主を務めた北見家に伝来した古文書群（一部）（当館所蔵）。

### 古文書×なぞとき

展覧会では、古文書を読むための心得を紹介しながら、実際にくずし字を読む体験ができます。古文書は難解ですが、時間をかけてようやく読めた時の感動はひとしおです。なぞときのワークシートを片手に、変体仮名と呼ばれる“かな”のくずし字に挑戦してみてください。

なお、会期中には、古文書の学習を始める一歩手前の導入として高尾善希氏による講演会を用意しております。また、実際に市内にのこる古文書を読み解く当館学芸員による古文書講座（全8回）も企画します。



「東海道五拾三次之内 戸塚」（当館所蔵）。  
軒先の看板には「こめや」と記されている。



井上攻編『ファミリーヒストリーの実験  
尾張藩下級士族がたどった明治・大正・昭和  
—（野の花）出版社、二〇二五年—』

### 古文書×ファミリーヒストリー

展覧会では、古文書を読む楽しさだけでなく、それらを活用することの楽しさや意義についても紹介します。

特に、近年流行りのファミリーヒストリーなどの個人史の実践を紹介しながら、身近な歴史資料を後世に遺していく意義や活用方法についても紹介します。

また、関連して、近年ファミリーヒストリーに関する書籍を刊行した井上攻氏による関連講演会も用意しています。

**一般公開に先立ち開催前日の1月30日（金）14時から報道関係者向けに内覧会を開催します。担当学芸員が展覧会の見どころをご案内いたします。詳しくは追ってお知らせいたします。**

お問合せ先

横浜市歴史博物館 TEL 045-912-7777

副館長：刈田均 広報担当：神谷量子、仲泉剛、花澤明優美